

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度				
事業番号	35	事業名	ながくて地域スマイルポイント事業		担当課		福祉課				
			(大事業名) 地域福祉推進事業		予算区分（款-項-目-中事業）		ながくて地域スマイルポイント事業				
					決算書ページ		96	97 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち	事業開始の背景	平成30年度に策定した、第2次長久手市地域福祉計画に基づき、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、「地域福祉の推進」のための取組を行う。					
		政策	1	地域共生を支える人づくり							
		施策	(3)	市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり					市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可
	その他	開始年度	平成27年度								
		終了予定年度	☐	年度						☒	未定
		根拠法令等	なし								
		関連計画	長久手市地域福祉計画								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）					
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)			
		【対象】 ☒ 市民 ☒ 事業者 ☒ 職員 ☐ その他 対象の数： 【事業内容】 市民活動参加のきっかけづくりのため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを、交換品に換えることができる事業を行います。		【アクションプラン指標】 ポイント交換者数【単年】 【その他の指標】		社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保護司会・更生保護女性会、市民活動に取り組む団体等と連携し、地域福祉を推進する。 (成果指標名) スマイルポイント事業交換者数		地域共生社会の実現を目指し、「気づき、つながり、届け、支え合う、たつせがあるまち ながくて」をつくる。			
				大事業共通							

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
		1	【アクションプラン事業】 ポイント交換者数【単年】	人	基準値	571	見込	550	550	550	550	550		
					目標値	620	実績	559						
		2	【その他指標】 市民団体新規登録	団体	基準値	－	見込	5	5	5	5	5		
					目標値	－	実績	5						
		3	【その他指標】 スマイルポイント事業　個人登録者	人	基準値	－	見込	850	900	900	900	900		
					目標値	－	実績	850						
		4			基準値		見込							
					目標値		実績							
		事業開始からの経緯												
		平成26年9月策定の地域福祉計画・地域福祉活動計画に次いで、平成31年に第2次長久手市地域福祉計画を策定し、地域福祉を推進している。平成28年1月に、市民活動のきっかけづくりや、健康づくり・介護予防等を目的として、ながくて地域スマイルポイント事業実施要綱を制定。												
		R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由												
継続事業として、引き続き実施した。														

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		スマイルポイント事業交換者数		人	H28 年度		H31 年度		【現状】 R5 年度		R7 年度		R9 年度	
					105		580		559		550		550	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					R1実績580、R2実績454、R3実績435 と減少傾向にあったが、R4実績は518と微増に転じた。コロナ禍収束後の活動の活発化も考慮しR6は微増とした。 しかし、ポイントを交換する方が固定化し、頭打ちの傾向があるためR7以降の目標は現状維持とした。						
	評価の理由、分析													
	今年度、目標を達成することができ、順調に推移している。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		手帳登録者数は継続してあるが、ポイントを交換する方が固定化し、頭打ちの傾向があり、一定の成果は果たしたものとらえている。対象事業が拡大しており、どのような事業を対象とするかの再検討の必要がある。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

